地域連携つうしん

特集

スポーツで膝を捻ったら

~膝前十字靱帯損傷について~

主にスポーツで着地したときや踏み込んだときに、膝を捻ることで前十字靭帯の断裂がおきます。膝には、そのほかに後十字靭帯、内側、外側側副靭帯があり、大きな外傷ではこのような靭帯の損傷も伴い、複合靭帯損傷がおきることもあります。前十字靭帯は通称ACLといわれ、手術を「ACL再建術」と呼びます。ACLが損傷しても通常、1ヶ月ぐらいで痛みは減り、膝は動き歩行は可能となります。この状態で手術をするため固定や、免荷は必要としません。受傷後に早期診断し、手術できる膝にすることが大切になります。ちなみに、ACLは切れたら、元のように縫合はできません。そのため他の組織を使って再建します。

靭帯は膝蓋腱を使う方法とハムストリング腱を使う方法があります。また、前十字靭帯を1本で作る方法と2本で作る方法があります。膝蓋腱の場合は1本で作り、ハムストリング腱の場合は2本で作ります。近年は、大腿骨側と脛骨側のもともと付着しているところに、靭帯を通す骨孔を開けるようになり、手術方法は日々進化しています。

当院では、その骨孔を長方形に作製し骨付き膝蓋腱を用いてACLをねじれさせ、3次元的にも、元のACLの走行に近くなるように、最新の知見に基づいたACL再建術を行っています。この方法では、骨癒合が期待でき、腱の強度が強いため早期のリハビリテーションが可能です。また、ハムストリング腱を用いて2本靭帯を再建する方法も行います。骨孔を大腿骨と脛骨側に2個ずつ開けて、ねじれを作り2本の腱で前十字靭帯を再建します。傷が少し小さくてすみますが、術後早期のリハビリテーションとスポーツ復帰が、膝蓋腱を使った場合と比較して遅くなります。当院では、強度の低いスポーツをしている女性にはこの方法をすすめています。

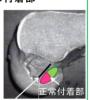
前十字靱帯損傷をはじめスポーツ障害でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。よろしくお願いします。





正常ACLの付着部



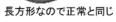


ACLはこの線より後方に付着部がある

ACLは完全にわかれているわけではないが後外側線維束(緑)と 前内側線維束(ピンク)からなり、膝屈曲位ではねじれる。

当院の現在の骨孔位置







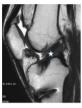
小さい円形2つで正常と同じ

骨付き膝蓋腱(長方形骨孔)





実際の再建靭帯



術後1年MRI しっかりした靭帯 が再建されている

ハムストリング腱(2本)







実際の再建靭帯

術後1年MRI しっかりした靭帯 が再建されている

]

【 担当:整形外科 阿部 雅志

新任医師のご紹介

令和5年4月1日付けで4人の医師が着任しましたので、ご紹介いたします。

①所属学会 ②専門医・認定医 ③ご挨拶

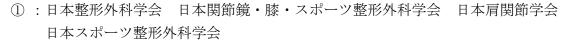
整形外科 阿部 雅志 医師

① : 日本整形外科学会 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 日本肩関節学会 日本スポーツ整形外科学会



③:スポーツ・膝・肩関節疾患を専門としています。よろしくお願いします。

整形外科 中村 光志 医師



② :日本整形外科学会専門医 運動器リハビリテーション医 藤枝MYFCチームドクター

③:股関節疾患・スポーツ疾患を専門とさせていただいております。地域に貢献 できるように頑張ります。



整形外科 森下 平太 医師

① : 日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会

③ :地域医療のために、全力で取り組んで参ります。



精神科 能登路 拓也 医師

① :精神神経学会

③ :出来る限り地域の医療に貢献して参ります。

診療実績

<u>〇受託検査実績</u>

項目	3月	4月	
СТ	38 件	25 件	
MRI	52 件	40 件	
超音波検査	23 件	18 件	
その他検査	14 件	13 件	
超音波検査	52 件 23 件 14 件	40 件 18 件 13 件	

〇診療実績

項	目	3月	4月
紹介患	者数	243 人	318 人
逆紹介	患者数	334 人	252 人
1日当	入院	166.9 人	166.2 人
IJ	外 来	523.2 人	493.1 人
病床利	川平	63.8 %	63.9 %
救急搬	设送件数	98 件	99 件

【発行】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632

TEL : 0537-35-2344 E א - יי : renkei@kikugawa-hosp.jp FAX : 0537-35-2843 האראיי : http://www.kikugawa-hosp.jp



© 菊川市